

新春所感 (2010年)

(協)熊谷流通センター
 理事長 大久保 政一



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成22年の新春をお健やかに迎えのことに、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと非常に厳しい一年でございました。近隣国である北朝鮮がミサイル発射や核実験を強行する一方、海外ではビッグスリーのGM・クライスラーが相次いで経営破綻、国内でも輸出不振の影響でマイナス成長が続く、失業不安が拡大、新型インフルエンザの世界的大流行は様々な分野に恐怖をもたらしました。ここまで「恐」を極めた以上、今年こそは「望」を掲げられるよう心から願ってやまないところであります。

また、昨年日本では政権交代がありました。首相に就任した鳩山さんが、国連で「日本は環境立国」を目指すと発言し、世界中に大きな波紋を呼んだことは記憶に新し

いところでありますが、今年度以降、どのように実現していくのか大きな不安と戸惑いを隠し切れません。自動車業界を例にあげれば、ガソリン車から電気自動車への移行にあたり、大手メーカーだけではなく、一次下請け、二次下請け等大きな裾野が広がっています。政府は「エコ」を推進するにあたり、こうしたニュービジネスへの移行にかかる工程表とともに、労働人口の移動をスムーズに行えるようなセーフティネットを国民に早く示す必要があります。さらに、鉄鋼業等の基幹産業は沢山のエネルギーを必要としています。こうした基幹産業の先行きについてどうするのか、歳出削減に努力するだけではなく歳入確保・拡大についても、国民に十分説明してこそ「安心・安全」社会の実現が可能ではないかと思うところであります。

ところで、こうした経済・社会環境の中で私たちがやらなければ

トピックス 年頭所感 2p

ガイド 大規模災害時対応プロジェクトチームの活動について 3p

ニュース 青経会例会 4p

ならないことは何でしょうか。

私は、商売の初心に返り、「備えあれば憂いなし」を実践していくことではないかと考えております。

つまり、「経営にかかわるあらゆるリスクを冷静に判断し」「着実に対策を講じ」「新たな経営資源を掘り起こしていく」という地道な努力こそが、今求められる「商人」の姿勢であると信じているところであります。

最後になりましたが、当組合は、昨年12月に全国中小企業団体中央会の補助金を受け「団地を中心とした災害対策」に着手することにいたしました。来年2月までに、「組合会館の耐震調査」を実施する他、組合ならびに組合員の一部の方にご協力いただき「BCPの検討」に入る等、「団地全体の安心・安全」を目指して参りたいと考えております。組合員の皆様には趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

そろそろ新年会のシーズンだ。このところ、景気が悪いせいもあってか廉価な居酒屋での飲み会が多い。一部の居酒屋では、コンピュータのタッチパネルで客が自ら注文するシステムが出てきている。

回転すしチェーンで子供がおもしろがってやっている、あのしくみのことである。

先日、ある居酒屋でそのシステムの内容を見てちょっと驚いた。料理や飲み物だけでなく、取り皿や子供用のスプーン、おしぼり、水、そして代行車の手配に至るまでのラインナップだ。

なるほど、店でアルバイトの店員に頼むあらゆることをワンタッチで操作することにより、接客対応と人件費を節約できる。店側も教育をする手間もはぶけ、客も面白がっている。なるほど今の時代を象徴したシステムだと感心した。

しかし同時に何とつまらない店で酒を飲んでいるのだろうかと思つたのは年のせいなのか？他人とのコミュニケーションの機会が急速に減っている今、こんなことが主流になつていいものだろうか。



Photo Essay

平成22年 年頭所感

役員の皆様に年頭所感を語って頂きました。

◆は日経平均株価予想（平成22年3月末終値）

◇は円ドル相場予想（平成22年3月末終値）



理事長 **大久保 政一**



夢は変化の連続だ。車が変わるガソリンから電気へ。変化は速い

◆ 9,751円 ◇ 88円

副理事長 **藤澤 貞彦**



変化を自社のビジネスに活かせ!

◆ 11,500円 ◇ 98円

副理事長 **大久保 和政**



ゆらぎ社会に生き抜く為の、企業の「しくみ直し」の行動 ゆらぎを鎮めるしくみを自分達の手で、自分達がやれる範囲で、直していく「しくみ直し」

◆ 10,250円 ◇ 91.20円

副理事長 **清水 龍男**



変化への対応・・・自己変革

◆ 10,500円 ◇ 89円

理事 **中沢 実**



提案力・情報力を強化し、お客様の繁栄にお役に立つ新営業店を創る。

◆ 10,650円 ◇ 94円

理事 **藤間 憲一**



大転換期の現実を直視し、逆境に対応できる構想力と現場力の見える化を図る

◆ 9,600円 ◇ 94円

理事 **佐藤 良孝**



デフレ経済に突入変化の中にビジネスチャンスをつかもう。

◆ 8,800円 ◇ 85円

理事 **飯島 賢二**



「自分と、未来は変えられる」変化を恐れず前向きに。

◆ 9,100円 ◇ 86円

理事 **宮川 進**



原点回帰、感謝の心で活動。計画→行動→検証→実動の基本を確立

◆ 9,980円 ◇ 92円

理事 **武藤 正**



たんぼくめいし 澹泊明志
わいせいちえん 寧静致远

◆ 9,999円 ◇ 88.88円

理事 **小林 肇**



未体験ゾーンへの挑戦「逃げない」「諦めない」「投げ出さない」

◆ 8,650円 ◇ 90円

理事 **石山 洋一**



「現実を見、外を見、先を見よう」コラボビジネスモデルの構築

◆ 10,000円 ◇ 95円

理事 **小菅 克祥**



激動の荒波に打ち勝つべく、全力を尽くし邁進します。

◆ 10,560円 ◇ 96円

専務理事 **及川 亨**



「何事にも果敢に挑戦する」ことを目指していきたいと思います。

◆ 8,800円 ◇ 79円

監事 **不破 武久**



スロー社会の変化を先取りし、本業に徹する。

◆ 11,000円 ◇ 95.50円

監事 **渡辺 優**



お互いに知恵と力を合わせて働こう。

◆ 9,267円 ◇ 94.32円

事務局長 **仲俣 巧**



視界を広げ、心の眼で見る。

◆ 9,150円 ◇ 91.50円



大規模災害時対応プロジェクトチームの活動について

大規模災害時対応プロジェクトチーム委員長 大久保 和政

組合総会でご報告させていただいた「大規模災害時対応プロジェクトチーム（略称 災害対策チーム）」の活動が昨年11月から本格化いたしました。本日はその内容についてQ & A方式によりご案内させていただきたいと思っております。組合員の皆様には、ぜひとも内容ご理解の上、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

Q1 災害対策チームというのは何をするとところなの？

大規模な地震等の災害に備え、「団地全体の防災対策」を進め「組合員や組合員企業に働く従業員の皆さん」の「安全・安心」を守る仕組み作りを進めていきます。将来的には、当団地を中心に周辺地域も含め「日本一災害に強い街」になることを目指したいと思っています。

Q2 具体的にはどんなことをするの？

組合会館の耐震調査を実施する等して、大規模災害時に皆さんが避難できる場所を特定したり、「食料・飲料」「医薬品」「非常用電源等の確保」「避難ルール」「消火・搬出等のルール」「被災者の救出ルール」等を検討し、「防災マップ」や「防災ルール」として皆さんにお知らせするとともに、防災訓練等を実施しその実効性を確保していきます。

Q3 お金はかかるの？

「組合会館の耐震診断調査」や「組合・組合員の事業継続」という観点からBCPコンサルタントの参加を予定しています。また、防災

マップを何時でも何処でも見られるよう「WEB化」したり「被災者の安否確認」の仕組み作りを検討したりするため専門家に委託する費用がかかります。具体的には13百万円程度の費用を見込んでいますが、そのうち10百万円強については*全国中小企業団体中央会の補助金を受ける予定です。
*全国中小企業団体中央会の補助事業は「卸商業団地機能向上支援事業」です。

Q4 誰が参加するの？

内容検討にあたり、組合役員の一部の方・青経会および組合事務局に参加していただく予定です。

Q5 「防災マップ」や「防災ルール」はいつできるの？

補助金事業の期限となる平成23年2月には完成し皆様にご報告を行う予定です。

Q6 組合員や組合員企業に働く従業員にも影響があるの？

大規模災害に対する備えや災害発生時のルールは団地で働くすべての人にかかわる問題ですので、皆

さんにご協力いただく必要があります。また、将来的には団地周辺の住民の安全にも寄与するものと考えていますので、とても意義あることだと考えています。

Q7 防災や防犯というのは行政に任せておけばいいんじゃないの？

昨今の震災事例を見ても、「防災」は行政に任せておくだけで必ずしも十分でないという印象があります。むしろ、大規模震災を想定した「非難施設」や「ルール」を組合・組合員全体で整備・機能するようにしておくことが、皆さんの「安全・安心」を守ってゆくことにつながると考え実施することといたしました。また、組合員にBCP（企業活動の継続計画）を整備していただくことにより、震災後の企業再開をスムーズに進めることを検討しています。

Q8 「日本一災害に強い街」になることはどんなメリットがあるの？

組合を中心に「安全・安心」が確保される街になれば、「住みたい」という希望を持つ方が増えてきます。それにより、新たな街づくりを計画的に行うことが可能になり、地域全体の活性化につながると考えています。

組合からのお知らせ 「組合会館」にAED(自動体外除細動器)を設置いたしました。

組合会館に来場されるお客様が体調不良となり、「心停止」状態に陥った場合を想定し、組合会館ホール玄関脇に「AED」を設置いたしました。

設置にあたっては、日本赤十字社埼玉県支部（以下同支部という）の補助金を利用させていただきましたので皆様にお知らせするとともに、同支部に対し改めて感謝の意を表したいと思います。

組合会館設置のAEDは持ち運び可能であり、組合会館内だけでなく、組合員企業内での利用も可能です。万一の場合は、組合事務局にご一報いただき、積極的な利用をお願いいたします。

なお、AEDの操作等につきましては、後日、同支部による講習を予定しております。日常利用はもちろんのこと、災害時等非常時にも活用できる機器ですので組合員および組合員企業の従業員の皆様にも広くご参加いただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。講習日程の詳細につきましては現在未定ですので、判明次第改めてご連絡をいたします。

青経会例会

青経会の研修例会は、メンバーの野原副代表幹事に講師をお願いし、去る10月16日組合会館で開催されました。テーマは「メンテナンスから捉えた環境への取組について」と題し、多岐にわたる



ルメンテナンス業務の中で取り組んでいる環境への取組手法についてお話しを頂きました。

理事会報告

9月15日理事会

《議案》

- ・新規加入組合員の承認について
原案通り承認

11月19日理事会

《議案》

- ・卸商業団地機能向上支援事業について
- ・AEDの設置について
原案通り承認

熊谷市に要望書提出

10月15日、組合では富岡市長を訪問し、昨年9月の陳情に続き、市水道供給の早期実施と団地内歩道の速やかな整備について要望書を提出致しました。

市からは、当面「歩道」について順次改善を図っていくという回答を頂きました。



環境委員会から「路上駐車」削減のお願い

環境委員会 委員長 清水龍男

当委員会は今年度のテーマとして「路上駐車」の削減に取り組んでおります。

そこで、実態把握のため昨年10月に「路上駐車」状況について調査を行ったところ、「終日路上駐車」となっている車両が凡そ50台以上に及んでいることが判明いたしました。「終日路上駐車」は利用者間等の不公平感をもたらすだけでなく、警察による取締りや、事故、災害時の妨害となることもありますので、今般、組合員の皆様に、自社における駐車場利用状況（従業員の利用状況を含む）についてご確認いただき、「終日路上駐車」があった場合は指導徹底をお願いすることになりました。

また、朝の時間帯で納品業者のトラック等が隣地組合員の出入りに及んでしまうケースも散見されました。事故防止とマナー遵守の観点から、上記と併せて指導徹底をお願いいたします。

以上、趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

尚、駐車場利用についてご相談がある場合は、組合事務局まで気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

集団健康診断実施



組合の福利厚生事業の一環として行っている定期健康診断が、ティーエムクリニックの医師・看護師20名により10月8日・9日の2日間実施され、団地内企業の社員約650名の方が受診されました。

ソシオ寄席開催

12月15日春秋会の忘年会開催（ホテルガーデンパレスにて）
写真は立川一門の立川談慶師匠



組合員の動き

経営統合

関越小松フォークリフト(株)

グループ9社の経営統合により
コマツリフト(株)として発足

代表者 磯田 信也
平成21年10月1日

合併

(株)イーエムシー

関連会社 大島光電(株)と合併し
関東総合資材(株)として発足

代表者 阿部 房雄
平成21年12月1日

新規加入

(株)クレーマージャパン

代表者 外園 隆
スポーツ用品の販売

熊谷市間屋町4丁目2-2

平成21年11月1日



事務局日誌

- 8月 19日 環境委員会
- 20日 埼玉県金融課来組
- 9月 8日 正副理事長会議
- 9日 災害対策正副委員長会議
- 15日 理事会
- 17日 県社会福祉協議会来組
- 18日 青経会交流役員会
- 10月 1日 青経会役員会
- 5日 商団連関東ブロック会議
- 8日 健康診断 ～9日
- 13日 給油事業委員会
- 15日 正副理事長会議
- 16日 青経会例会
- 11月 10日 正副理事長会議
- 17日 厚生年金基金会議
- 18日 環境委員会
- 19日 理事会
- 26日 災害対策常任委員会
- 12月 1日 広報小委員会
- 11日 青経会視察研修～12日
- 15日 理事会・春秋会忘年会